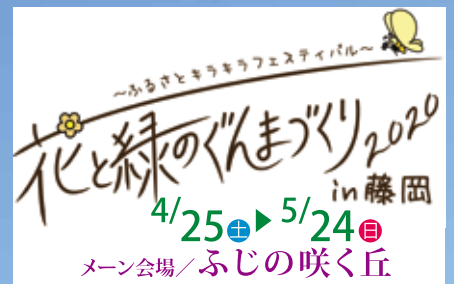


議会だより



12月定例会の あらまし

定例会は、11月28日から12月11日までの14日間の会期で開催されました。
教育長の任命についてなど49議案が提出されました。

◆28日― 本会議 会期の決定。

市長提出議案48件を上程、うち43議案を即決。

◆2日― 総務常任委員会、

経済建設常任委員会。

◆6・9日― 本会議 一般質問。

◆11日― 本会議 委員会付託議案

5件を可決。

追加議案1件を即決。

議案等審議結果＜12月定例会＞

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告15号	専決処分承認を求めることについて（令和元年度藤岡市一般会計補正予算（第4号））	承認（全員）
第86号	教育長の任命について	同意（全員）
第87号	藤岡市表彰条例の一部改正について	可決（全員）
第88号	藤岡市行政区設置条例の一部改正について	可決（全員）
第89号	藤岡市特別会計設置条例の一部改正について	可決（全員）
第90号	藤岡市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第91号	藤岡市長等の諸給与条例の一部改正について	可決（全員）
第92号	藤岡市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第93号	藤岡市職員定数条例の一部改正について	可決（全員）
第94号	藤岡市職員の公益的法人等への職員派遣等に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第95号	藤岡市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第96号	藤岡市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第97号	藤岡市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正について	可決（多数）
第98号	藤岡市職員の退職手当に関する条例の一部改正について	可決（多数）
第99号	藤岡市旅費支給条例の一部改正について	可決（全員）
第100号	藤岡市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第101号	藤岡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	可決（多数）
第102号	藤岡市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の制定について	可決（多数）
第103号	藤岡市消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例の廃止について	可決（全員）
第104号	藤岡市交通指導員設置条例の廃止について	可決（全員）
第105号	藤岡市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第106号	藤岡市印鑑条例の一部改正について	可決（全員）
第107号	藤岡市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第108号	藤岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決（全員）
第109号	藤岡市建築基準法関係手数料条例の一部改正について	可決（全員）
第110号	藤岡市建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律関係手数料条例の一部改正について	可決（全員）
第111号	藤岡市水道事業給水条例の一部改正について	可決（全員）
第112号	藤岡市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第113号	藤岡市簡易水道事業等の設置等に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第114号	藤岡市水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第115号	藤岡市下水道条例の一部改正について	可決（全員）
第116号	藤岡市下水道事業の設置等に関する条例の制定について	可決（全員）
第117号	藤岡市青少年センター設置条例の一部改正について	可決（全員）
第118号	藤岡市公民館設置条例の一部改正について	可決（全員）
第119号	藤岡市国指定史跡高山社跡の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第120号	三波川第2コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可決（全員）
第121号	藤岡中央児童館の指定管理者の指定について	可決（全員）
第122号	庚申山総合公園の指定管理者の指定について	可決（全員）
第123号	藤岡総合運動公園の指定管理者の指定について	可決（全員）
第124号	烏川緑地及び神流川緑地の指定管理者の指定について	可決（全員）
第125号	毛野国白石丘陵公園及び中央公園の指定管理者の指定について	可決（全員）
第126号	鬼石地区公園の指定管理者の指定について	可決（全員）
第127号	藤岡市譲原農産物処理加工施設天神茶屋の指定管理者の指定について	可決（全員）
第128号	新市建設計画の一部変更について	可決（全員）
第129号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	可決（全員）
第130号	市道路線の認定について	可決（全員）
第131号	令和元年度藤岡市一般会計補正予算（第5号）	可決（全員）
第132号	令和元年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第133号	令和元年度藤岡市一般会計補正予算（第6号）	可決（全員）

台風19号災害対策の 検証を生かしたまち

づくりについて

小西 貴子

問 記録的な被害となつた今回の台風では、特に自主防災組織の強化及び事前協議、学校避難所運営計画の策定、防災無線の代替としてFMぐんまの活用、河川の砂利雑木の除去に重要性を感じましたが、これらの検証及び対策について見解を伺います。

答 自主防災組織については、今後組織の強化育成に係る取り組みを支援します。学校施設を利用した避難所については、地域住民、学校教職員による避難所運営の考え方は持ち合わせており、市内の高校との連携も図っています。FMぐんまによる情報発信の有効性については、広報や防災講座等で周知に努めていきます。河川の雑木除去については、既に国県に要

望、また早めに予算化し、段階的に行っていく予定です。今後、関係部署との調整により対応可能な課題解決から順次進め、来年の台風シーズンまでには体制を整えていきます。

市民でにぎわう公園

づくりについて

問 本市は一人当たりの公園面積は広いが、市民の公園に対する満足度は低いのではないかと思います。特に本市北部にはこれといった公園もなく、北藤岡駅周辺土地区画整理事業で比較的大きい公園造成の予定があります。今後、中途半端ではなく目につくところに魅力的な公園を作っていくべきと考えますが、今後の予定を伺います。

答 具体的な実施時期については回答できませんが、現事業の進捗状況が踏まえて検討したいと考えています。

問 災害時にペット避難所としても活用できるドッグランを整備することは大変有意義であると考えますが、見解を伺います。

答 ドッグランは民間事業者による整備が望ましいと考えています。本市は自然環境に恵まれた地域であり、ペットの散歩についても十分に満足頂けていると思いますので、当面整備の予定はありません。

市民の健康づくり

について

窪田 行隆

問 肺がんは死亡者数と死亡率の一番高いがんですが、医療の進歩により今や治る病気です。早期に見えれば、約8割が治るといふことで、そのためには肺がん検診の受診率向上が重要です。国はオプトアウト方式すなわち特定健診と各種がん検診を、断らない限りセットで受診できる方式を進

めています。本市でも特定健診と肺がん検診をセットで受診できるようにするべきと思いますが、考えを伺います。

答 肺がん検診は、問診、胸部エックス線撮影のほか二重読影と比較読影の実施が必要です。個別検診では読影実施について、委託先との調整が必要ですので、今後検討していきたいと思っています。

集団検診では、肺がん検診を加えるのは、今の実施方法では難しいため、セット検診をオプトアウト方式でできるように予約制など実施方法を見直し、実施できるかを検証していきたいと考えています。

環境衛生について

問 飼い主のいない犬や猫を増やさないため、飼い犬と飼い猫への去勢避妊手術を進める必要があります。手術を行うことで愛護動物のトラブル防止と、病気の予防にもなります。手術には費用が

掛かるため、全国で行政による補助が行われ、県内でも19市町村が実施しています。

本市でも飼い犬と飼い猫に対する去勢避妊手術への補助を行うべきだと思いますが、考えを伺います。

答 現時点では飼い猫などの愛護動物に対する去勢避妊手術費の補助制度を導入することは慎重に考えています。

今後は、民間基金で飼い主のいない猫に対する去勢避妊手術を優先的に進めながら、実施の際にチラシを毎戸配布し、所有者らに飼い犬や飼い猫への去勢避妊手術をお願いするなどの啓発を図り、将来的には補助制度の新設等を検討していきたいと考えています。



防災、災害時の

対応について

中澤 秀平

問 台風19号では、1277人が避難場所へ避難したと報告がありました。小野地区では避難場所の小野中学校に入り切れなくなるというような事態にもなりまし。本市の各避難場所の想定していた収容人数を伺います。

答 各避難所の面積に対し収容人数を算出した場合、約1万3600人となり、各避難所間での調整は必要となります。人口の約20%の方を収容できるものと考えています。

問 小野地域では、地区の人口1万1438人に対して、小野中学校の収容可能人数は人口比で3・5%です。避難場所の再検討をする考えがあるか伺います。

答 本市の人口規模や職員数等から適正であり、見直しを行う予定はありません。

学校給食について

問 第5次藤岡市総合計画には安全で良質な食材の選定や衛生管理の徹底により、安全で安心な給食の提供に努めるとありますが、学校給食の意義について伺います。

答 学校給食法では、学校給食が児童・生徒の心身の健全な発達に資するものであり、児童・生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものであるとしています。

問 群馬県が2018年に行った食品安全等に関する意識調査では「輸入食品に不安を感じる」という人が78%で最多です。本市の給食では主食の米は国内産ですが、パンには輸入小麦が使われています。パンに使われている小麦の国産と輸入の割合を伺います。

答 ロールパンは県内産小麦100%、米粉パンは県内米粉50%と輸入小麦50%、

コッペパンや丸パン、ミルクパン、黒パンは、輸入小麦100%です。輸入小麦の主な原産国はアメリカ、カナダ、オーストラリアです。



防災対策について

大久保 協城

問 台風の最中に避難所への必要な物品の運搬は非常に危険なため、備蓄の分散ができないか、また、土のうを住民に近い場所に収納すべきと思いますが、考えを伺います。

答 避難場所の指定は、多数の避難者を受け入れることが可能な小中学校を中心に行っています。今後、教

育委員会と協議の上、学校の空きスペースの活用や新たな備蓄場所の検討を行います。土のうの保管場所は、各自主防災組織と地域の空き施設を活用した保管方法を協議し、共助による取り組みを強化します。

問 避難所運営を含めた災害の対応をしっかりと検証することが重要と思いますが、今後の取り組みについて伺います。

答 台風19号では、多数の避難者対応に係る準備不足など、足りない点があったことから、今回開設した体育館で、職員の実体験に基づいた避難所運営訓練を2月に実施し、災害対応力の強化と職員の資質向上に努めます。また、災害検証委員会を立ち上げ、その結果をもとに地域防災計画を改正し、防災力の向上を図ります。

観光振興について

問 台風被害を受け、来

年度予定されているイベントに影響があるか伺います。

答 チャレンジサイクリングフェスタは、コースの一部で地滑りしており、コース変更等の対策を実行委員会において協議します。5月のへら鮎釣り大会は、下久保ダムへの大量の流木の流れ込み、水の濁りにより、ボート運航等に支障が出ていますが、例年通りの開催に向け調整しています。

問 下久保ダムは重要な観光資源です。国やダムを管理する水資源機構に対して、しっかりと向き合おうべきと思いますが、考えを伺います。

答 下久保ダムは、半世紀に渡って多くの人達が犠牲を払って下流都県に水を供給し、東京都を含む下流域の経済、市民生活が成り立っています。今後も、国等にはこのことを主張し、地域の声をしっかりと伝えていきます。

旧公立藤岡総合病院の 利活用について

吉田 達哉

問 旧公立藤岡総合病院利活用検討委員会の進捗状況を伺います。

答 現在までに4回開催し、第1回は経緯や土地、建物の課題や問題点などを説明した後に現地視察を行い、全委員から施設の現状について感想や意見交換を行いました。

第2回は本市の現状及び課題等について、望ましい本市の将来像や中心市街地の姿・あり方の議論を行いました。この会議の中で、市民の声を聞くことも重要であるとの意見があり、8月7日に検討委員会主催による意見聴取会を開催しました。

第3回は意見聴取会の報告、第2回会議での検討結果を踏まえて、旧公立藤岡総合病院や中心市街地に求める方向性について議論しました。

第4回は旧病院の利活用

にかかわる基本方針(案)、具体的な施設・機能(案)、既存建物、土地の活用可能性、活用範囲の議論を行い、提言書(案)の作成に向けた協議を行いました。

問 検討委員会から提言書が出た後の進め方を伺います。

答 提言書の意見を集約した後に、旧病院の構成市町村と協議をし、有効活用についてしっかりと取り組みます。

公共交通について

問 本市における交通弱者や公共交通空白地域の対策について伺います。

答 市民の意見聴取や交通実態調査を行いました。また、10月に公共交通活性化検討委員会を開催し協議を始めました。

問 地域ごとに公共交通を利用するための利便性を考えて事業を進めていただきたいと思いますが、今後の

進行スケジュールを伺います。

答 本市では、バス路線全体での見直しを行うとともに、新たな輸送形態も調査・研究し、区域運行やボランティア輸送等、他事業での検討も併せて行い、導入する運行形態にもよりますが、令和3年度中の事業開始を目指したいと考えています。

観光振興について

内田 裕美子

問 高山社跡の有料化に伴い、今後さらに他の構成資産との連携が重要と思います。考えを伺います。

答 構成資産のうち富岡製糸場、荒船風穴、高山社跡が有料化となることから、共通割引サービスなどの遺産群を周遊できるように連携事業を、群

馬県あるいは他の構成資産所在市町に提案をしたと思います。

子育て支援について

問 昨今、保育士不足が深刻です。潜在保育士は多いものの、子育てが落ちついて働きたいと思っても、保育士の仕事の過酷さを考え、保育士への復帰を断念してしまうケースも多いそうです。保育士の確保のための支援や、潜在保育士が再度保育士として復帰できるように、自治体によっては、保育士の就労相談を行ったり、復帰のための支援金の補助を行っている自治体もあります。保育士の確保のための支援をすることによって、良質な保育の充実にもつながると思います。本市として、保育士確保のための支援が必要と思いますが、考えを伺います。

問 子どもが受ける予防接種の任意接種は、子育て世帯にとっては大きな負担となっています。子育て支援策として、任意接種のロタウイルスワクチンやおたふくかぜの予防接種も助成すべきです。今後の予定について伺います。

答 ロタウイルスワクチンの予防接種は令和2年10月より定期の予防接種となる予定です。おたふくかぜについては、市独自の助成事業の対象として、令和2年4月より実施する予定です。

答 保育にかかわる人材の定着、確保を進めるためには、潜在保育士の掘



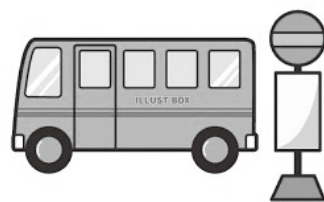
路線バスについて

茂木 光雄

問 路線整備と経路見直しについて伺います。

答 市内循環線の平成30年度実績は、輸送人員2万7616人、一便あたり4・2人です。経常収入は266万3千円で、経常費用は2148万7千円です。市内循環線の停留所は、バス停だけが設置されている箇所がほとんどで、上屋やベンチの整備がされていません。利用者の利便性向上などの観点から、整備が望ましいですが、設置場所や道路形状等の問題もあり、十分な整備に至っていません。群馬藤岡駅は、通勤通学時の朝、夕は大変混雑していますが、バス停留所を整備するには、限られた敷地の中で整備する必要があります。歩道を削減して整備しなければならぬため困難です。経路見直しについては、公共交通活性化検討委員会の中で、本市が実施できる取り組みを見極め、検討し

ていきたいと考えています。



マイナンバーカードについて

問 普及状況と今後の取り組みについて伺います。

答 カード交付枚数は、令和元年10月31日現在、人口6万5168人に対して、交付枚数5689枚で人口比率8・7%です。普及が進まない理由として、必要性、利便性が感じられない、情報管理に不安といったことが考えられます。住民票等のコンビニ交付については、令和元年11月末現在、導入している自治体が県内で8市町村あり、住民サービスの向上や窓口業務の負担軽減等の効果が

考えられますが、導入初期費用として2240万3千円、ランニングコストに毎年985万1千円が見込まれ、本市の普及率では現段階の導入は難しいと考えます。マイナンバーカードを活用した国の消費活性化策として、令和2年度中に国の負担でポイント還元を行うことが予定されていますが、市としては、カード取得の際に自身でID設定をすることが困難な市民に対して支援できる体制を構築していきたいと考えています。

政治倫理条例の制定について

関口 茂樹

問 政治倫理条例は、市長や議会議員がその地位による影響力を不正に行使して私的利益を図ることのないよう必要な事項を定め、市民の信頼を得る有力なシステムです。本市においては、平成26年に市議会議員に対して政治倫理を規則で定め、藤岡市議会議員政治倫理規則が

制定されました。

しかしながら、市長は議員よりもさらに大きな権限を有し、市政に対して重い責務を負っていることを考えると、市長に対する政治倫理に関する法令がないことは望ましくありません。

本市も、平成21年に制定した前橋市のように、市長に対する政治倫理条例を制定し、市政に対する市民の信頼をより強固にする必要があると思います。考えを伺います。

答 市長等の政治倫理基準を明確にし、条例を制定することは、市政に対する市民の信頼を確保するために有効と考えます。市長等政治倫理条例は、県内では前橋市と富岡市で制定されています。

本市では、汚職事件や資産隠しといった事案はなく、政治倫理に関する条例は制定されていますが、政治倫理の確立の一環として、既に制定している資産等の公開に関する条例により市長の資産や所得は公開されていますので、今後、政治

倫理条例について調査研究していききたいと思っています。

問 政治倫理条例の制定に対する市長の考えを伺います。

答 規程や条例があっても、市民の付託に誠意をもって信頼のもとにそれぞれの諸業務、職務を遂行することは当然だと思っています。しっかりと研究させていただきます。

問 政治倫理条例への消極的な姿勢は理解に苦しみます。1日も早く条例を制定すべきと考えますが、市長の考えを伺います。

答 しっかりと調査研究いたします。



持続可能な開発目標 (SDGs) について

橋本 新一

問 持続可能な開発目標

(SDGs (エスディー・ジーズ)) は2015年9月国連総会で採択された「誰一人取り残さない」との包摂性が示され、持続可能な社会の実現に向けた2016年から2030年までの国際目標です。国においても、2016年に推進本部を設置し実施指針が策定され、8つの優先課題と140の具体的施策を定めています。また、群馬県においては2019年10月にSDGs先進県に向けた決意宣言をし、次期総合計画の策定に理念を反映させるとともに、セミナーの開催などを計画しています。本市の考え及び取り組みについて伺います。

答 本市としては、まずSDGsのことを正しく理解するとともに、市民

をはじめ、民間企業、大学及びNPOなどとのパートナーシップにより市全体で持続可能な社会の実現に向けて取り組めるよう調査研究を行いたいと考えています。

問 SDGsでは、20

30年までに国際社会が取り組むべき世界共通の目標として、17の目標が掲げられています。「教育が全てのSDGsの基本」と言われ、そうした視点に立った教育実践が求められています。本市における学校教育の位置づけについて伺います。

答 少子高齢化が進む中

で地域コミュニティの存続が危ぶまれることから、子ども達のために地域を挙げて教育に関わることで大切と考え、本市ではコミュニティスクールを基盤とする小中一貫教育を推進しています。学校は子どもの学びの場だけではなく、コミュニティの核となる場です。こうしたことは持続可能な開

発のための教育Ⅱ ESD とつながります。小中学校はユネスコスクールに加盟して、持続可能な開発のための教育を推進しています。さらに、小中学校の新学習指導要領には全体の内容に係る前文及び総則において、「持続可能な社会の創り手」の育成が掲げられており、これを踏まえて、各教科に盛り込んでいます。

議場見学のご案内

藤岡市議会では、市民に開かれた議会を目指し、議会をより身近なものと感じていただくため、随時、議場見学を受け入れています。

見学時間 平日の午前8時30分から午後5時まで
※ただし、市役所の休日及び議会の会期中会議開催日は除きます。

ふじおかほっとメールから議会の情報を発信します!

会議の日程などに関する情報を配信しています。ぜひご活用いただき、議会の傍聴にお越しください。

登録を始める前に

ご使用になる携帯電話で迷惑メール対策をされている場合は、次の2点についてご確認／設定をお願いいたします。

- ・「city.fujioka.gunma.jp」ドメインからのメール受信を許可する設定にしてください。
- ・URL付きメールの受信を許可する設定にしてください。

登録はこちら

- ・パソコンで登録
→<https://service.sugumail.com/fujioka/member/>から
- ・スマホなどで登録→右QRコードから



市議会を傍聴しませんか？

.....

議会は、3・6・9・12月の定例会と随時に開催する臨時会があります。

◎本会議の傍聴

本会議は、一般の方に公開されており、いつでも傍聴することができます。事前の予約は必要ありません。

傍聴を希望する本会議の当日に、傍聴人受付(市役所2階議会事務局前)で、受付簿に住所、氏名を記載し、番号札を持って入場します。

傍聴される方に議案集の貸し出しも行っています。傍聴人の定員は58人です。

◎委員会の傍聴

委員会も本会議と同様の手続きで傍聴することができます。

傍聴を希望する委員会当日に議会事務局までお越しください。

日程については、市議会事務局にお問い合わせください。

また、藤岡市ホームページの「藤岡市議会」→「議会の情報：会議のお知らせ」にも開催予定日を掲載しています。

■3月定例会(予定)

※議事の都合により変更となる場合があります。

月 日	時 間	摘 要
2月27日(木)	10:00	本 会 議
2月28日(金)	10:00	本 会 議
3月3日(火)	10:00	常任委員会
3月4日(水)	10:00	常任委員会
3月6日(金)	10:00	一 般 質 問
3月9日(月)	10:00	一 般 質 問
3月11日(水)	10:00	予算特別委員会
3月12日(木)	10:00	予算特別委員会
3月17日(火)	10:00	本 会 議

● 問い合わせ ▶ 市議会事務局 ☎ 40-2377 ●

この議会だよりに掲載してある一般質問は、要約してあります。

詳しくは、藤岡市のホームページや市役所相談室、図書館で会議録(2月下旬公開予定)をご覧ください。

● 藤岡市議会ホームページ▶<http://fujioka.gijiroku.com/> ●

議会中継をご覧ください

藤岡市議会では、市民に開かれた議会を目指し、インターネットによる録画配信を行っています。

藤岡市議会のホームページから、議会中継を見ることが出来ます。

現在、インターネットで配信されている映像は、平成25年第4回定例会から、12月6・9日に行われた令和元年第5回定例会（今号掲載分）までの一般質問の様子です。

ぜひ、ご覧ください。

議会中継

録画放映

をクリック

藤岡市議会

議会の情報:

- 市議会トップページ
- 正・副議長の紹介
- 市議会議員名簿
- 委員会別名簿
- 会議のお知らせ
- 傍聴のご案内
- 定例会の流れ
- 諸願・陳情
- 主な決議
- 議会だより
- 議会基本条例
- 行政視察報告書
- 行政視察のご案内
- ふじおかまっとメール
- 議会中継**
- 録画放映
- 文書検索:
- 会議決案について

議会からのお知らせ

日付	内容
平成31年3月26日	行
平成31年3月20日	な
平成31年3月19日	3
平成31年3月19日	5
平成31年3月19日	行
平成31年3月19日	行
平成31年3月11日	議
平成31年3月5日	3
平成31年2月26日	2
平成31年2月22日	行

藤岡市議会録画放映

会議名: 本会議
会議日: 令和元年6月20日 10:00
日程:
一般質問

録画内容:
6月20日

別ウィンドウで表示(上で再生できない場合)
映像が見られない場合
前の画面に戻る

録画放映画面です
画面を大きくすることもできます

ココをクリック!

■ご覧いただく各映像は、藤岡市議会の公式記録ではありません。

経済建設常任委員会所管調査

調査日 ● 令和元年7月23日(火)

藤岡インターチェンジ 西産業団地について

藤岡インターチェンジ西産業団地の整備が群馬県企業局を事業主体として始まりました。当該産業団地は藤岡市の北西部、上信越自動車道「藤岡インターチェンジ」から西へ約2・4kmの距離にあり、東京へ約1時間、中部圏や近畿圏、東北圏へもスピーディーな事業展開が可能で、製造・物流の拠点として最適であると考えられます。

藤岡市が行う事業概要としては、市道1286号道路改良工事、配水管敷設、既設管撤去工事、農業用水路付替工事、中村堰用水管理用防護柵設置工事などを今年度事業として施工する予定のことです。

この産業団地は令和3



西産業団地を現地確認

年3月から分譲開始になる予定で、問い合わせも多数あるとのことから、これから期待を持ちたいと思います。また、早期完成を目指し、藤岡市の玄関口としての産業団地にしていただきたいと思います。

ららん藤岡について

ららん藤岡はオープン以来、利用客の満足度が高く、2009年から7年連続で、関東の「好きな道の駅」ランキングにおいて1位を獲得しました。しかし、施設の老朽化や利用客の多様化などの変化から、さらなる利用者の満足度の向上を目指し、施設の利便性を改善しています。

これまで、農産物直売所やレストラン、トイレ等の改善を行っており、リニューアル後の効果としては、利用者数と売上額の増加が見られたとのことです。

ららん藤岡は年間の利用者が200万人を超え、道の駅として、まさに藤岡市の玄関口として大きな役割を担っている施設です。利用者からも満足

度の高い評価を得ていますが、利用率の高さによる駐車場のスペース不足など課題はあります。このような課題に取り組みするためにも、運営側の気持ちを一つにして、ららん藤岡の設置目的を再認識し、今後も前進に向けて整備を実施していくよう提案をしていきたいと思っています。



ららん藤岡多目的室で概要説明

委員長	丸山保
委員	針谷賢一
委員	関口茂樹
委員	野口靖
委員	橋本新一
委員	冬木一俊

編集後記

令和とした新元号での初めての新年を迎えました。

市民の皆様にとつて、本年が幸多い年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

令和元年第5回定例会では、教育長の任命についてほか48件の議案について、慎重に審議をし、議決を致しました。また、一般質問では9名の議員により、活発な議論が行なわれました。

編集委員会では、今年も議会活動をよりわかりやすくお伝えできるよう、紙面づくりに努めていきたいと考えております。

議会だより編集委員会

委員長	大久保協城
副委員長	中澤秀平
委員	関口茂樹
委員	小西貴子
委員	窪田行隆
委員	針谷賢一
委員	隅田川徳一
委員	吉田達哉